

会員名称	小諸市
取組名称	ウェルネスシティ信州小諸 実現に向けたコンパクトシティの取り組み -自分らしく居られるまち、自分に還れるまち-
問合先	企画課企画調整係

取り組み概要

【ウェルネスシティ信州小諸】

小諸市は2020年に「ウェルネスシティ信州小諸」をビジョンとして掲げ、健康分野に限定しないあらゆる分野におけるウェルネス（よりよい健康・健全な状態）を目指しながら、市内外の人々にとってサードプレイス（快適で居心地がよい場所、癒される場所）となることを目指している。「ウェルネスシティ信州小諸」を通じて選ばれるまちの実現を目指すことで、人口減少を食い止めるとともに、移住者と地元との間で化学反応を生み、まちの発展につなげている。

【コンパクトシティ構想と民間・市民・行政プラットフォームの形成】

「ウェルネスシティ信州小諸」を実現するために、2つの戦略によって着実な推進をしている。1つは、2013年に市の最上位計画である総合計画にコンパクトシティ構想を掲げ、これまで中心市街地に魅力的な器として、拠点を整備してきた点である。もう1つは、民間企業・市民・行政が一体となった地域プラットフォームの形成である。全国でこの形成に難儀している自治体が多い中、小諸市は民間のキーマンを軸に多様な主体がつながりを持ちうまくかみ合ってきている。この2つの戦略が相乗効果を発揮することで、つながりをベースにしたさまざまな事業を展開している。

【地域資源を活かした体験や交流の創出】

2021年より、社会実験として「まちたねプロジェクト」を始動している。市民団体や民間事業者など多様な主体が、自ら実施するイベントや事業活動などにより、居心地の良い場所をみんなで創り上げていくまちタネ広場（小諸駅前広場）を整備した。また、こういった拠点と地域資源をつなげるとともに、出会いや体験が生まれる新たなMaaS事業として、スマートカート「egg」の運行を実施している。このほかにも郊外ではPark-PFI（公募設置管理制度）を活用した「スタラス小諸の建設」を進めている。このような取り組みが相まって、小諸で繋がりをもちたい人が、移住促進や空き店舗活用を行う「おしゃれ田舎プロジェクト」を窓口にして、新規出店につなげている。

